

第2学年国語科学習指導案

単元名 「人物の特徴をとらえて論じよう」

教材 『那須与一』『弓流』—『平家物語』から（東京書籍「新しい国語2」）

1 単元について

佐賀県の中学校第2学年の生徒の実態として、平成24年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から「書くこと」に課題の多いことが分かっている。特に「相手や目的に応じて分かりやすく書く」ことを問う設問では無解答率が他の設問を大きく上回っており、特に留意して課題の解決に取り組まなければならないと考える。

本単元では、「書くこと」の学習に重点を置き、古典に描かれた登場人物の人柄や性格について論じる文章「人物論」を書かせることを言語活動として設定する。この活動を通して、読み取った情報を整理し、相手や目的に応じて分かりやすく書く力を身に付けさせたい。

本教材「那須与一」は、平家と源氏の両軍が見守る中で、源氏方である東国の若武者「那須与一」が、風にひらめくはるかかなたの扇の的を見事に射落とす場面である。そこには、与一の弓術の見事さと、味方の名誉のために命を懸けて挑んだ悲壮な心境が描かれている。

また、これに続く「弓流」では、与一の優れた武芸に感銘を受けた平家方の男が舞を披露し、与一を褒めたたえる姿が描かれる。そこで義経の命を受けた与一が再び弓を執り、その男を射殺すという場面が描かれている。そこからは戦の中に身を置く武士の姿を感じ取ることができる。生徒たちはそのような場面における登場人物の心情を読み取ることで、昔の人のものの見方や考え方に触れることができると思う。

生徒は、前単元で、本単元と同じ教材を用いて伝統的な言語文化に関する事項ア(ア)についての学習に取り組んでいる。冒頭部分は暗唱を通して、「那須与一」「弓流」の部分は音読を通して場面の状況や物語の展開などを読み取っており、「平家物語」の作品の概要や、「那須与一」「弓流」の大体の内容を理解している。

また、根拠を明確にして書くことについては、第1学年「書くこと」の指導事項ウに明示されており、これを受けて、第2学年では、根拠と理由付けと主張を明確に認識して、論理的な文章を書くことを指導したい。

指導に当たっては、まず、生徒の身近な例で簡単な人物論を書くモデル学習を通して、本単元における学習課題と学習方法、学習計画等を確認させ、見通しをもたせる。次に、「那須与一」「弓流」の場面の登場人物の言動など、人柄や性格が分かる表現に着目させ、読み取った情報を整理・分析し、一人の登場人物についての人物論を書かせる。書いた人物論は、人物ごとにグループで交流させて、登場人物の人柄や性格について考えを深めさせることで、「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像させたい。また、登場人物の人柄や性格が伝わるように、根拠を明らかにして書くことについての知識・技能を確かなものにさせたい。

2 単元の目標

- (1) 作品に表れたものの見方や考え方に関心を持ち、登場人物の思いを想像して人物論を書こうとする。
- (2) 登場人物の人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書くことができる。
- (3) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像することができる。

3 単元の言語活動

「平家物語」の一場面を読み，登場人物の人柄や性格について，根拠を明らかにして人物論を書く。
 (関連：言語活動例B(2)イ)

4 単元の評価規準 ()内は該当する指導事項等の記号

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
①作品に表れたものの見方や考え方に関心を持ち，登場人物の思いを想像して人物論を書こうとしている。	①登場人物の人柄や性格について，相手に効果的に伝わるように，根拠を明らかにして書いている。(ウ)	①「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ，登場人物の思いなどを想像している。((1)ア(イ))

5 指導と評価の計画 (全4時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	<p>1 いくつかの文章を比べ読みし，説得力のある主張とはどのようなものか考える。</p> <p>2 学習課題『平家物語』の登場人物について人物論を書くことを通して，『平家物語』に表れたものの見方や考え方に触れ，登場人物の思いなどを想像する力や，根拠を明らかにして自分の考えを書く力を身に付けよう」を設定する。</p> <p>3 漫画の登場人物について人物論を書き，モデル学習に取り組む。</p>	<p>○根拠のない主張を，少しずつ根拠のある主張に書き換えていく過程を読ませ，説得力をもたせるためには，より具体的な根拠を述べる必要があることを実感させる。</p> <p>○必要な情報を整理・分析し，根拠を明らかにして自分の考えをまとめる力を身に付けることを確認する。</p> <p>○根拠から主張を導き出すためには，理由付けが必要であることを確認させる。</p> <p>○根拠が同じでも理由付けが違えば，人柄や性格についての考えが異なることを確認させる。</p> <p>○モデル学習として，漫画「ドラえもん」の中から一人の人物を選ばせて人物論を書かせ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[国語への関心・意欲・態度] ① 観察，ワークシート① ワークシート②</p> </div>

		4 「平家物語」で人物論を書くための学習計画を確認する。	る。 ○教材提示装置で学習計画表を提示して、人物論を書くために必要な活動を確認し、本単元の学習について見通しをもたせる。	
二	2	5 人物論を書く人物を登場人物の中から一人選ぶ。 6 教科書の「平家物語」を読み、自分が選んだ登場人物の特徴が分かる部分を探す。 7 人物論を書くために読み取った情報を整理・分析する。	○登場人物を確認させ、その中から誰の人物論を書きたいかを決めさせる。 ○人柄や性格が分かる言動などに着目させる。 ○原文だけでなく、口語訳や現代文で書かれた部分も参考にさせる。 ○モデル学習を参考にさせる。 ○読み取った内容をワークシート③にまとめ、選んだ人物の人柄や性格を考えさせる。	[言語についての知識・理解・技能] ① ワークシート③
	3	8 選んだ人物の人柄や性格について、根拠を明らかにして人物論を書く。	○根拠、理由付け、主張を確認して書くように指示する。 ○これまで使用したワークシート、補助資料等を活用させる。	[国語への関心・意欲・態度] ① 観察、ワークシート④ [書く能力] ① ワークシート④
三	4	9 書き上げた人物論を読み合い、感想や意見を交流する。 10 単元の学習を振り返り、身に付けた力やその力を活用できそうな場面について考える。	○友達の書いた人物論を読ませることで、登場人物の言動の意味や思い、人柄や性格等について考えを深めさせたり、広げさせたりする。 ○単元の学習について指導者の評価を伝え、生徒が新しい課題や今後の学習の展望がもてるようにする。	[言語についての知識・理解・技能] ① 交流シート

6-1 1/4時の指導計画

(1) 目 標

作品に表れたものの見方や考え方に関心をもち、登場人物の思いを想像して人物論を書こうとする。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	<p>1 いくつかの文章(ワークシート①前半)を比べ読みし、説得力のある主張とはどのようなものか考える。</p> <p>2 日常生活で根拠の明らかな主張が必要な場面を想起し、身に付けたい力を考える。</p> <p>3 学習課題『平家物語』の登場人物について人物論を書くことを通して、『平家物語』に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像する力や、根拠を明らかにして自分の考えを書く力を身に付けよう」を設定する。</p> <p>4 本時の目標を知る。</p>	<p>ワークシート①</p> <p>学習計画表</p>	<p>○根拠のない主張を、少しずつ根拠のある主張に書き換えていく過程を読ませ、説得力をもたせるためには、より具体的な根拠を述べる必要があることを実感させる。</p> <p>○話合いでの主張や、生徒会長選挙などでの演説といった身近な例を想起させ、学習の動機付けを行う。</p> <p>○必要な情報を整理・分析し、根拠を明らかにして自分の考えを書く力を身に付けることを確認する。</p> <p>○根拠をもって主張する一例として人物論の書き方を学ぶことを伝える。</p>	
<p>作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して人物論を書こう</p>				
展 開	<p>5 漫画の登場人物について人物論を書き、モデル学習に取り組む。</p> <p>[手順]</p> <p>1) ワークシート①(後半)に取り組んで、根拠から主張を導き出すためには、理由付けが必要であることを理解す</p>	<p>ワークシート①</p> <p>資料①</p>	<p>◆資料①「ハワイがやってくる」(『ドラえもん』第44巻所収)を教材提示装置で投影して学習への意欲を喚起し、資料を配布</p>	<p>【関①】 作品に表れたものの見方や考え方に関心をもち、登場人物の思いを想像して人物論を書こうとしている。</p> <p>【観察】</p> <p>【ワークシート①】</p> <p>【ワークシート②】</p>

展 開	<p>る。</p> <p>2) ワークシート②の例文を読んで、根拠が同じでも理由付けが異なれば主張(人柄や性格についての考え)が異なることを理解する。</p> <p>3) 漫画「ドラえもん」の中から一人の登場人物を選び、「根拠」「理由付け」「主張」を明らかにして人柄や性格を考える。</p> <p>4) 考えをまとめたワークシート②を教材提示装置で拡大提示して交流し合う。</p> <p>6 「平家物語」で人物論を書くための学習計画を確認する。</p>	<p>ワークシート②</p> <p>学習計画表</p>	<p>する。</p> <p>○「ドラえもん」の登場人物の一人を取り上げて、根拠が同じでありながら理由付けと主張が異なる例を示す。</p> <p>○簡単な人物論を書くことを通して自分の書く能力を自覚させるとともに、単元の言語活動について確実に理解させる。</p> <p>◆2～3名の生徒のワークシート②を教材提示装置で拡大提示し、考えを発表させる。</p> <p>○同じ登場人物や、同じ根拠を取り上げていても理由付けが異なると導き出される人柄や性格についての考えが異なることを実感させる。</p> <p>◆教材提示装置で学習計画表を提示して、人物論を書くために必要な活動を確認し、本単元の学習について見通しをもたせる。</p>	<p>作品に表れたものの見方や考え方を基にして「根拠」「理由付け」「主張」を考えている。または、ワークシートへのマーキングや書き込みをして人物論を書いている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> <p>ワークシート②の記入例の根拠と理由付けと主張の部分に注目させ、理由付けに納得できるかどうか検討させたり、他の理由付けを考えさせたりする。</p>
ま と め	<p>7 学習計画表の「自己評価」を行い、「学んだこと」を書く。</p> <p>8 次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	<p>学習計画表</p>	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、学級での交流で参考になった発言などを書くように促す。</p> <p>○次時は「那須与一」「弓流し」の場面の登場人物について、その特徴が分かる表現を探し、その人柄や性格を考えることを確認し、見通しをもたせる。</p>	

6-2 2/4時の指導計画

(1) 目 標

「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像することができる。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ I C T活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返る。	学習計画表	○2～3名の生徒に前時の「学んだこと」の欄に書いたことを発表させる。	
	2 本時の目標を確認し、学習内容を見通す。	ワークシート②	◆前時の学習活動において「十分満足できる」状況(A)にあった生徒の記述を紹介し、作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像するということについて理解を深めさせる。 ○「那須与一」「弓流し」の場面について、舞台となった時代が歴史的にどのような時代であるか、どのような場面であるかなど、既習内容を想起させる。	
「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像しよう				
展 開	3 教科書に書かれている「平家物語」の登場人物をワークシートに書き出す。	ワークシート③	○那須の与一、伊勢三郎義盛など、すべての登場人物を挙げさせる。	
	4 人物論を書く人物を登場人物の中から一人選ぶ。		○原文だけでなく、口語訳や現代文で書かれた部分にも着目させる。	
	5 選んだ人物の、人柄や性格が分かるような表現を探して教材文に線を引く。		○選んだ登場人物について置かれた状況や言動などに着目するよう指示する。	
	6 線を引いた部分から考えられる人柄や性格についてワークシートにまとめる。		○「人物論」を書くために選んだ人物の言動の意味を、場面の状況と照らし	

展 開	<p>7 選んだ人物の人柄や性格について考えをまとめる。</p> <p>[手順]</p> <p>1) 根拠を書き出す。</p> <p>2) 理由付けをする。</p> <p>3) 主張を1～2文で書く。</p> <p>4) グループで、自分が考えた主張を出し合い、その違いなどについて質問し合って考えを深める。</p>	国語辞典 補助資料	<p>合わせて考えさせる。</p> <p>○「平家物語」の登場人物の人柄や性格を思い描くためには、「生きた時代の状況」と「置かれた立場・職業」などの視点が重要になることを知らせ、社会科の学習で得た知識や、調べたことなどを書き込むように促す。</p> <p>○モデル学習を参考にさせる。</p> <p>○ものの見方や考え方が分かるような根拠を書き出させる。</p> <p>○登場人物の思いなどを想像させて理由付けをするように促す。</p> <p>○人柄や性格を表す語彙を一覧表にして渡したり、国語辞典や類語辞典を用意したりして考えをまとめる手助けをする。</p> <p>○同じ人物について人物論を書く生徒を4、5名ずつのグループに編成して交流させ、考えを深めさせる。</p>	<div data-bbox="1134 663 1484 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[言①]「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像している。 【ワークシート③】</p> </div> <div data-bbox="1134 920 1484 1211" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「平家物語」に表れたものの見方や考え方を基にして「根拠」「理由付け」「主張」を考えて書いている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> </div> <div data-bbox="1134 1234 1484 1514" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>モデル学習と対応させて「平家物語」から情報を抜き出させ、生徒の生活経験と比べさせるなどして考えや感想をまとめさせる。</p> </div>
ま と め	<p>8 学習計画表の「自己評価」を行い、「学んだこと」を書く。</p>	学習計画表	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での交流で参考になった発言などを書くように促す。</p>	

ま と め	9 次時の「目標」を確かめ、 見通しをもつ。		○次時は、人物論を書くこ とを確認し、見通しをも たせる。	
-------------	---------------------------	--	-------------------------------------	--

6-3 3/4時の指導計画

(1) 目 標

- ・ 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して人物論を書こうとする。
- ・ 登場人物の人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書くことができる。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 〔Cの状況の生徒への手立て〕
導 入	1 前時の学習を振り返る。	学習計画表 ワークシート③	○2～3名の生徒に前時の「学んだこと」の欄に書いたことを発表させる。 ◆前時のグループでの交流を通して考えが深まった生徒の記述を紹介し、作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像するということについて理解を深めさせる。	
	2 本時の目標を確認し、学習内容を見通す。		○人物論の構成については、頭括式で書くこと、記述については登場人物の思いを想像して具体的に書くことなどをワークシート③で確認する。	
人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして人物論を書こう				
展 開	3 前時にまとめたワークシート③を基にして、人物論を書く。 〔手順〕 1) ワークシート③に整理した情報のうち、「主張」、「根拠」、「理由付け」に書いた内容を確認かめる。	ワークシート③ 作品モデル ワークシート④ 国語辞典 補助資料	○登場人物の人柄や性格について、自分の考えに最も合う語句を使っているかを確認かめる。 ○根拠にした事柄と理由付けを明確にして書くように指示する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【関①】 作品に表れたものの見方や考え方に興味をもち、登場人物の思いを想像して人物論を書こうとしている。</p> <p>【観察】 【ワークシート④】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>作品に表れたものの見方や考え方に興味をもち、登場人物の思いを想像して「主張」「根拠」「理由付け」</p> </div>

展 開	<p>2) ワークシート③を基にし、作品モデルを参考にしながら、ワークシート④に「人物論」を書く。</p> <p>3) 人物論を読み返し、「人物論を書くときのチェックポイント」と照らし合わせて推敲する。</p> <p>4) グループで読み合いアドバイスをし合う。</p>	<p>学習の手引き「書くこと」③「推敲に強くなる！」</p>	<p>○人物論を書くときのチェックポイントを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《板書例》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>人物論を書くときのチェックポイント</p> <p><input type="checkbox"/>「主張」「根拠」「理由付け」を書いているか。</p> <p><input type="checkbox"/>場面の状況を考慮して、人物の言動の意味や思いを想像して書いているか。</p> <p><input type="checkbox"/>自分の考えや感想を書いているか。</p> </div> </div> <p>○これまで使用したワークシート、補助資料等を活用させる。</p> <p>○学習の手引きを活用させて、読みやすく分かりやすい文章になるように、推敲させる。</p> <p>○誤字・脱字等についても気が付いたところを指摘させる。</p>	<p>書いている。または、もの見方や考え方に触れているか、登場人物の思いを想像しているかを考えながら、推敲したり交流したりしている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>時代背景を振り返らせ、登場人物の言動の意味を考えさせたり、思いを想像させたりして、自分の考えや感想をまとめさせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【書①】登場人物の人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書いている。</p> <p>【ワークシート④】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>登場人物の人柄や性格について「主張」「根拠」「理由付け」を頭括式で構成して書いている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>人物論を書くときのチェックポイントを押さえて例文を示して書かせる。</p> </div>
ま と め	<p>4 学習計画表の「自己評価」を行い、「学んだこと」を書く。</p>	<p>学習計画表</p>	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での交流</p>	

	5 次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。		で参考になった発言などを書くように促す。 ○次時は、学級で人物論を読んで交流することを確認し、見通しをもたせる。	
--	-----------------------	--	---	--

6-4 4 / 4時の指導計画

(1) 目 標

「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像することができる。

(2) 展 開 ※ 本時における評価は、授業終了後に回収した交流シートによって行う。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返る。	学習計画表 ワークシート④	○2～3名の生徒に前時の「学んだこと」の欄に書いたことを発表させる。 ◆前時の学習活動において「十分満足できる」状況(A)にあった生徒の記述を紹介し、「武士の世界の価値観」を踏まえて想像するということについて理解を深めさせる。 ○本時は、学級での交流を通して「平家物語」に表れたものの見方や考え方に気づき、登場人物の思いなどを想像することを確認する。	
	2 本時の目標を確認し、学習内容を見通す。			
人物論を読み合い、「平家物語」のものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像しよう				
展 開	3 書き上げた人物論をグループで読み合い、感想や意見を交流する。 〔手順〕 1) 人物論を読み合うときのチェックポイントに従って評価する。 2) 同じ人物でも捉え方が違っている場合は、自分の考えと比べて感想や意見を書く。 3) グループで人物論を発表する代表者を1名決める。	ワークシート④ 付箋	○人物論を読み合うときのチェックポイントを交流シートで確認する。 ○感想や意見は、付箋に書いて作品に貼って次の人へ回すように指示する。 ○紹介したい理由を明らかにして決めさせる。	

<p style="text-align: center;">展 開</p>	<p>4 学級で発表し合い、自分が選んだ登場人物以外の人物論や、自分とは異なる根拠や理由付けで書かれた人物論を読んで、「平家物語」に表れたものの見方や考え方に気づき、登場人物の思いなどを想像する。</p> <p>[手順]</p> <p>1) グループの代表者が発表する。</p> <p>2) 感想や意見を2～3名に発表させる。</p> <p>5 自分の人物論に貼られた付箋を交流シートに整理し、自分の書いた人物論を自己評価するとともに、「平家物語」に表れたものの見方や考え方について考えを深める。</p>	<p style="text-align: center;">交流シート</p>	<p>○いろいろな人物論を聞いて考えを広げたり深めたりさせる。</p> <p>○印象に残った人物論や、それに対する発言についてはメモに書き留めておくように指示する。</p> <p>○感想や意見は、新しく気付かされたことや自分と異なる考え方を中心に言わせるようにする。</p> <p>○他の生徒から受け取った付箋を整理して考えを深め、自分の書いた人物論について振り返るように指示する。</p> <p>○学級での交流を通して「平家物語」に表れたものの見方や考え方で気付いたことや、想像が膨らんだ登場人物の思いなどを書かせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>[言①]「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像している。</p> <p>【交流シート】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>交流を通して、「平家物語」に表れたものの見方や考え方に気づき、登場人物の思いなどを想像して書いている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>最も印象に残る人物論を選ばせ、なぜ印象に残ったのかを考えさせる。また、その人物論で捉えられたものの見方や考え方や、人物論の中に描かれた人物の思いなどに注目させて考えを深めさせ、交流シートに書かせる。</p> </div>
	<p>6 学習計画表の「自己評価」を行い、「学んだこと」を書く。</p> <p>7 単元の学習を振り返り、身に付けた力やその力を活用できそうな場面について考え、学習計画表に記入する。</p>	<p style="text-align: center;">学習計画表</p>	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での参考になった発言などを書くように促す。</p> <p>○単元の学習について指導者の評価を伝え、生徒が新しい課題や今後の学習の展望がもてるようにする。</p>	